

1 導関数

1.1 復習

確認です.

(1) 微分係数の定義

$$f'(a) =$$

(2) 導関数の定義

$$f'(x) =$$

1.2 色々考える

連続であるが、微分可能でない x の値が存在する関数を複数描いてみよう.

1.3 練習

定義に従って...

(1) 関数 $f(x) = \sqrt{x}$ の $x = 2$ における微分係数を求めよ.

(2) 関数 $f(x) = \frac{1}{x}$ の導関数を求めよ.

2 導関数の計算

2.1 公式

まずは、使えるようになりましょう。

定理

関数 $f(x), g(x)$ がともに微分可能であるとき,

- $\{f(x)g(x)\}' =$

- $\left\{\frac{1}{g(x)}\right\}' =$

- $\left\{\frac{f(x)}{g(x)}\right\}' =$

合成関数の微分

関数 $y = f(u)$ が u の関数として, $u = g(x)$ が x の関数として微分可能であるとき, $y = f(g(x))$ は x の関数として微分可能で,

- $\frac{dy}{dx} =$

もちろん, 2年初期に学んだ公式も成立.

有理数 p に対して,

$$(x^p)' =$$

2.2 例

微分せよ.

(1) $y = (x^2 + x)(x^3 + 4x + 2)$

(2) $y = \frac{1}{3x + 1}$

(3) $y = \frac{x^2}{3x + 1}$

(4) $y = (2x^2 + 1)^3$

(5) $y = x\sqrt{x^2 + 1}$

3 さまざまな関数の導関数

3.1 自然対数

自然対数 e を, 以下のように定義する.

$$e =$$

この値は, おおよそ

数学の世界では,

3.2 公式

以下が成立.

導関数

- $(\sin x)' =$

- $(\cos x)' =$

- $(\tan x)' =$

- $(\log x)' =$

- $(\log_a x)' =$

- $(\log |x|)' =$

- $(\log_a |x|)' =$

- $(e^x)' =$

- $(a^x)' =$

まずは, 使えるようになりましょう.

3.3 例

微分せよ.

(1) $y = 3 \sin 2x$

(2) $y = \cos^3 x$

(3) $y = \tan(3x^2 + 1)$

(4) $y = x \log x - x$

(5) $y = \log |\cos x|$

(6) $y = \log_2 |x^3 + 1|$

(7) $y = xe^x$

(8) $y = 3^x$

3.4 対数微分法

問題

微分せよ.

$$y = \frac{(x-1)(x+3)^3}{(x+2)^4}$$

3.5 第 n 次導関数

関数 $y = f(x)$ の導関数 $f'(x)$ が微分可能であるとき、これをさらに微分して得られる導関数を、関数 $y = f(x)$ の第 2 次導関数といい、

のように表す。

以下、同様に第 n 次導関数を

のように表す。

例

第 n 次導関数を求める。

(1) $f(x) = e^{-x}$

(2) $f(x) = \sin x$

練習第 2 次導関数, 第 3 次導関数を求めよ。

(1) $f(x) = x^3 + x^2 + x + 1$

(2) $f(x) = \log x$

練習第 n 次導関数を求めよ。

(1) $f(x) = x^n$

(2) $f(x) = e^{2x}$

3.6 媒介変数

導関数の記号の嬉しい点は、分数のように扱う事ができる点である。

例題

x の関数 y が、 t を媒介変数として、次の式で表されるとき、 $\frac{dy}{dx}$ を t の関数として表せ。

$$x = 2 \cos t, \quad y = 5 \sin t$$

3.7 練習

(1) $x = t^2, \quad y = 2x + 3$

(2) $x = \frac{1}{\cos t}, y = \tan t$

4 各種証明

定理

関数 $f(x), g(x)$ がともに微分可能であるとき,

- $\{f(x)g(x)\}' =$

- $\left\{\frac{1}{g(x)}\right\}' =$

- $\left\{\frac{f(x)}{g(x)}\right\}' =$

合成関数の微分

関数 $y = f(u)$ が u の関数として、 $u = f(x)$ が x の関数として微分可能であるとき、 $y = f(g(x))$ は x の関数として微分可能で、

- $\frac{dy}{dx} =$

導関数

- $(\sin x)' =$

- $(\cos x)' =$

- $(\tan x)' =$

導関数

- $(\log x)' =$

- $(\log_a x)' =$

- $(\log |x|)' =$

- $(\log_a |x|)' =$

- $(e^x)' =$

- $(a^x)' =$